



1 12月2日。そなえーるで、少年消防クラブ育成連絡協議会による《火災予防席書大会》が行われました。空気が乾燥し、火災が起こりやすい季節です。暖房の近くに燃えやすいものを置かないなど、暮らしの中から「火の用心」を。

2 12月3日。千歳・支笏湖水凧まつりの1月25日開幕に向けた水像制作などの《安全祈願祭》が行われ、骨組みに湖の水を吹き付けるセシモノーが行われました。実行委員会の皆さんの惜しみない努力による感動の幻想空間が今から楽しみです。

3 12月8日。総合武道館で、折り紙ヒコーキ協会が主催する《JAL折り紙ヒコーキ全国大会》の千歳予選会が行われました。紙飛行機が地面に降り立つまでの滞空時間を競う千歳らしい競技に、子どもも大人も一緒になって楽しみました。

4 12月17日。北菜小たんぼほ学級の皆さんが、市長室と教育長室を訪れ、手作りの木版画カレンダーを寄贈しました。制作の苦労話や作品への思いを熱心に説明する皆さん。場が温かな雰囲気になりました。

5 12月20日。恒例の《国際交流の夕べ（国際交流協会主催）》が行われました。赤と白の衣装など仮装して参加した約70人の交流会は、国際色豊かなサンタクロースの社交場のようにした。

ライターズ

編集後記

■「新しい」という言葉には、前へ進もうと思わせる不思議な響きがある。力のある言葉だ。一方で、変化が相応しくないものもある。特集では、昭和62年から10年間連載した本紙4コマ漫画《ほんわか奥さん》の主人公が登場いただいたが、キャラクターが醸し出す安心感が相変わらず絶妙だ。変わるものと変わらないもの、その共存のバランスが必要だと思える。■

■広報担当になり3か月が経ちました。最初はカメラの操作に四苦八苦しながら撮影する日々でした。2018年、取材で出会ったみなさん、ありがとうございました。2019年はこれまで以上にたくさんの人を撮影し、愛着ももてる広報紙を目指して頑張りますので楽しみにしてください。■

今月の表紙

昨年は自然災害など試練の多い一年でしたが、取材先で、たくさんの笑顔に出会えた年でもありました。今年は元号が改まるなど変化を感じる年ですが、昨年以上の明るい笑顔に会いに行きたいと思います。



昨年1月～12月の間
市内各所で撮影